

船舶事故等調査報告書

平成24年1月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011神第22号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成23年1月23日 12時08分ごろ	
発生場所	徳島県阿南市伊島東北東方沖 伊島灯台から真方位055° 5.1海里付近 (概位 北緯33° 53.7′ 東経134° 53.9′)	
事故等調査の経過	平成23年2月2日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A ガス運搬船 ^{コーラル ルブラン} CORAL RUBRUM（オランダ王国籍）、5,469トン 9185346（IMO番号）、Scheepvaartmaatschappij Coral Rubrum B.V.（オランダ王国） B 漁船 ^{しんえい} 新栄丸、9.32トン TO2-2462（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 航海士A、ウクライナ国籍、オランダ王国免状 B 船長B、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	A なし B なし	
損傷	A 右舷船尾部擦過傷 B 右舷船尾外板脱落、ワイヤロープ切断等	
事故等の経過	A船は、船長及び航海士Aほか13人が乗り組み、航海士Aが船橋当直に就いて約15.0ノット（kn）の速力（対地速力、以下同じ。）で南進中、B船は、船長Bが1人で乗り組み、約2.0knの速力で底びき網漁のために北北西進中、平成23年1月23日12時08分ごろ、伊島東北東方沖において、A船の右舷船尾部とB船の右舷船尾部とが衝突した。 B船は、船長Bが左舷船尾付近で後方を向きながら、漁獲物の選別作業を行っていたところ、A船と衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、伊島東北東方沖を南進中、航海士Aが船橋当直中にB船と衝突したものと考えられるが、船長及び航海士Aから情報が十分に得られなかったため、衝突に至る状況を明らかにすることはできなかった。 B船は、伊島東北東方沖を北北西進中、船長Bが、漁獲物の選別作業に注意を集中し、適切な見張りを行っていなかったことから、A船への接近に気付かずに航行を続け、A船と衝突したものと

	考えられる。
原因	本事故は、伊島東北東方沖において、A船が南進中、B船が北北西進中、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。